2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名　リバーエレテック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6666　URL https://www.river-ele.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 萩原　義久
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員総務本部長　(氏名) 天野　伸幸　TEL 0551－22－1211

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月4日
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	3,465	21.1	46	―	21	―	△14	―
2026年3月期中間期	2,861	4.3	△169	―	△180	―	△175	―

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　149百万円　(―%)　2026年3月期中間期　△125百万円　(―%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	△1.77	―
2026年3月期中間期	△21.31	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	10,998	4,695	42.7
2026年3月期	10,709	4,586	42.8

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　4,695百万円　2026年3月期　4,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
2027年3月期	―	5.00			
2027年3月期(予想)			―	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,648	14.9	104	―	47	―	12	―	1.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	8,692,652 株	2026年3月期	8,692,652 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	462,686 株	2026年3月期	462,686 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	8,229,966 株	2026年3月期中間期	8,229,966 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法) 2026年12月11日 (金) に開催予定の機関投資家・アナリスト向け決算説明会後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の金融緩和の進展に伴う為替相場の変動や、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの高まり、中国経済の停滞懸念など、依然として不確実性の高い状況で推移しました。電子部品業界におきましては、生成AIやIoT関連投資が市場を牽引した一方で、AI向け半導体の需要拡大に伴うメモリの供給不足や価格高騰の影響などからスマートフォン向け需要が低調に推移し、市場全体としては分野ごとに明暗が分かれる展開となりました。

このような事業環境のもと、当社グループは中期経営計画「R2028」に基づき、AI/IoT時代の到来による事業機会を確実に取り込むべく、事業ポートフォリオの変革を推し進めております。次世代データセンターの光トランシーバー用途に向けた超低位相ノイズ水晶発振器「KCRO-05」をはじめとするKoTカット製品群につきましては、多くの顧客からの引き合いが堅調に推移しており、量産体制の構築に向けた設備の設置を進めるなど、当初の計画通りに事業化の動きが本格化しております。

販売面におきましては、医療・ヘルスケア向けや産業機器向けが堅調に推移したことに加え、主力である小型音叉型水晶振動子が前年同期比で伸長したことなどから、売上高は3,465百万円（前年同期比21.1%増）の増収となりました。利益面におきましては、期初から継続する原材料価格や人件費等の上昇圧力はあったものの、収益性の高い製品・アプリケーションの拡大によるプロダクトミックスの改善に加え、円安による為替の影響や全社的な原価低減の取り組み、採算性を重視した販売施策が収益性の向上に寄与いたしました。これらの効果により、第2四半期の利益水準は第1四半期を上回りました。

これらの結果、当中間連結会計期間の営業利益は46百万円（前年同期は169百万円の営業損失）、経常利益は21百万円（前年同期は180百万円の経常損失）となり、営業利益および経常利益において黒字転換を果たしました。親会社株主に帰属する中間純損失は14百万円（前年同期は175百万円の親会社株主に帰属する中間純損失）となり、前年同期から大幅に改善しております。

今後の見通しにつきましては、本日公表の「業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2027年3月期の連結業績予想を修正しております。次世代データセンター向けKoTカット製品の量産立ち上げを着実に進めるとともに、「R2028」に掲げる収益力とキャッシュ創造力の強化を引き続き最優先事項とし、原価低減のさらなる推進と高付加価値製品へのポートフォリオ転換を一層加速させることで、持続的な利益成長を目指してまいります。

なお、当社グループは水晶製品事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産合計は、原材料及び貯蔵品の増加271,069千円、建物及び構築物の増加297,123千円、建設仮勘定177,611千円の減少等により、前連結会計年度末から289,186千円増加し、10,998,847千円となりました。

負債合計は、1年内返済予定の長期借入金114,104千円の増加等により、前連結会計年度末から180,458千円増加し、6,303,614千円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定95,417千円の増加等により、前連結会計年度末から108,728千円増加し、4,695,233千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は284,642千円（前年同期は393,038千円の獲得）となりました。これは主に減価償却費264,869千円、棚卸資産の増加221,046千円、未収消費税等の減少142,893千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は583,204千円（前年同期は122,812千円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出767,468千円、定期預金の払戻による収入572,600千円、有形固定資産の取得による支出387,211千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において財務活動の結果獲得した資金は2,647千円（前年同期は390,560千円の使用）となりました。これは主に長期借入れによる収入800,000千円、長期借入金の返済による支出733,686千円等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、足元の利益水準が期初の想定を上回るペースで推移していることから、2026年５月15日に公表の2027年３月期通期（2026年４月１日～2027年３月31日）の連結業績予想を修正しました。詳細は、本日（2026年11月13日）公表の「業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,814,990	2,793,650
受取手形及び売掛金	1,309,307	1,374,864
電子記録債権	8,915	9,744
商品及び製品	224,254	188,860
仕掛品	667,116	657,760
原材料及び貯蔵品	1,146,182	1,417,251
その他	432,099	320,131
貸倒引当金	△3,010	△3,227
流動資産合計	6,599,855	6,759,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	605,488	902,612
機械装置及び運搬具（純額）	1,696,887	1,614,435
工具、器具及び備品（純額）	90,882	82,845
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	84,109	71,625
建設仮勘定	829,191	651,579
有形固定資産合計	3,721,988	3,738,528
無形固定資産		
ソフトウエア	19,686	17,525
その他	9,466	9,466
無形固定資産合計	29,152	26,992
投資その他の資産		
投資有価証券	249,896	349,846
繰延税金資産	33,293	48,708
その他	75,475	75,736
投資その他の資産合計	358,665	474,291
固定資産合計	4,109,805	4,239,812
資産合計	10,709,660	10,998,847

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	313,061	335,507
電子記録債務	7,756	－
短期借入金	348,980	341,430
１年内返済予定の長期借入金	1,403,646	1,517,750
未払法人税等	21,088	30,108
賞与引当金	84,461	176,643
役員賞与引当金	7,812	16,692
設備関係電子記録債務	6,336	－
その他	426,153	366,264
流動負債合計	2,619,296	2,784,396
固定負債		
長期借入金	2,911,504	2,863,714
長期未払金	1,600	1,600
繰延税金負債	41,502	108,145
役員退職慰労引当金	157,860	163,480
退職給付に係る負債	324,841	322,866
その他	66,552	59,411
固定負債合計	3,503,859	3,519,217
負債合計	6,123,156	6,303,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,681,829	1,681,829
資本剰余金	643,845	643,845
利益剰余金	1,912,696	1,856,967
自己株式	△250,345	△250,345
株主資本合計	3,988,026	3,932,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,149	189,189
為替換算調整勘定	478,328	573,746
その他の包括利益累計額合計	598,478	762,936
純資産合計	4,586,504	4,695,233
負債純資産合計	10,709,660	10,998,847

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,861,715	3,465,938
売上原価	2,356,147	2,686,956
売上総利益	505,567	778,981
販売費及び一般管理費	675,465	732,835
営業利益又は営業損失（△）	△169,897	46,146
営業外収益		
受取利息	19,337	11,518
受取配当金	2,168	2,793
その他	8,519	3,452
営業外収益合計	30,026	17,764
営業外費用		
支払利息	28,900	34,560
為替差損	10,510	5,827
その他	1,250	1,700
営業外費用合計	40,661	42,087
経常利益又は経常損失（△）	△180,533	21,823
特別利益		
固定資産売却益	200,467	900
特別利益合計	200,467	900
特別損失		
固定資産除却損	0	0
為替換算調整勘定取崩損	129,075	－
特別損失合計	129,075	0
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△109,140	22,724
法人税、住民税及び事業税	19,139	16,934
法人税等調整額	47,123	20,369
法人税等合計	66,262	37,303
中間純損失（△）	△175,403	△14,579
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△175,403	△14,579

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純損失（△）	△175,403	△14,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,731	69,040
為替換算調整勘定	20,277	95,417
その他の包括利益合計	50,009	164,457
中間包括利益	△125,394	149,878
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△125,394	149,878

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△109,140	22,724
減価償却費	303,204	264,869
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1	166
賞与引当金の増減額（△は減少）	47,655	91,885
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	－	8,880
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2,420	5,620
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	12,390	△1,974
受取利息及び受取配当金	△21,506	△14,312
支払利息	28,900	34,560
為替差損益（△は益）	17,963	△4,516
有形固定資産売却損益（△は益）	△200,467	△900
有形固定資産除却損	0	0
為替換算調整勘定取崩損	129,075	－
売上債権の増減額（△は増加）	119,628	△53,918
棚卸資産の増減額（△は増加）	△54,591	△221,046
仕入債務の増減額（△は減少）	△43,071	14,572
未収入金の増減額（△は増加）	2,347	3,830
未払金の増減額（△は減少）	△8,811	△1,249
前受金の増減額（△は減少）	△8,753	△902
未収消費税等の増減額（△は増加）	202,972	142,893
その他	1,889	28,273
小計	422,105	319,454
利息及び配当金の受取額	21,449	14,279
利息の支払額	△28,574	△35,685
法人税等の支払額	△23,376	△14,285
法人税等の還付額	1,434	880
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,038	284,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△726,490	△767,468
定期預金の払戻による収入	597,334	572,600
有形固定資産の取得による支出	△246,562	△387,211
有形固定資産の売却による収入	252,905	－
無形固定資産の取得による支出	－	△1,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,812	△583,204
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△70,600	△7,550
長期借入れによる収入	500,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△766,982	△733,686
リース債務の返済による支出	△11,828	△14,966
配当金の支払額	△41,149	△41,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△390,560	2,647
現金及び現金同等物に係る換算差額	△99,809	77,666
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△220,144	△218,248
現金及び現金同等物の期首残高	2,195,026	2,182,830
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,974,882	1,964,582

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

当社グループは、水晶製品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

当社グループは、水晶製品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。